

議題及び会議の概要

教育長	平成 29 年第 1 回教育委員会会議を開催いたします。 はじめに会議録の承認をお願いいたします。
総務係長	前回、12 月 26 日に開催されました第 15 回教育委員会会議は、議案が 1 件、議案第 1 号平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法については、原案のとおりご決定いただいております。また、報告が 1 件、報告第 1 号平成 29 年成人式はたちのつどいの開催については報告済みであります。 会議録承認の件よろしいですか。 一同了承
教育長	次に私からの報告事項であります。 1 月の定例校長会での指示、指導事項について報告します。 1 点目は、平成 29 年はこれまでの取組の成果を表す年ということで、本年 4 月に実施される全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力調査については、改善の取組を全校一丸となって精力的に行い、必ず結果に結びつけてほしいとのお願いをしました 2 点目は、都道府県から指定都市への事務・権限の委譲等（第 4 次一括法）の影響について、北海道から札幌市への権限移譲に伴い、指導法工夫改善と児童生徒支援の加配教員が平成 29 年度から全道で 100 人以上減となり、石狩管内においても 14 人程度の減となり、千歳市の影響は 1 名程度の見込みであること。また、平成 29 年度全国学力・学習状況調査から文部科学省の公表は都道府県及び指定都市となることから、石狩管内の公表数値は札幌市を含まない数値となるということをお伝えしました。 3 点目は、特別支援教育研修会についてですが、1 月 11 日に開催した特別支援教育研修会「学校で活かす愛着障がいのある子への支援」の参加状況は、小中学校 24 校、高校・支援学校・養護学校・幼稚園等 9 校のほか福祉、行政機関から参加があり、参加者数は小中学校関係者が管理職 12 名、教諭 47 名、支援員・ヘルパー等 34 名の計 93 名で、その他福祉、行政機関関係者を含めた参加総数が 167 名であり、多くの皆さんに参加いただいたことに感謝申し上げます。また、研修の参加者からは、「講師が受けた虐待や愛着障がいの体験とその克服までの具体的な話を聞くことができ、当事者目線で支援を行うことの大切さを実感した」との感想が多くあり、今後も障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進をお願いするとともに、引き続き研修会等への積極的な参加をお願いしました。 4 点目は、学校教育課の特別支援教育担当主査による中学校巡回訪問結果

から、1つ目は個別の指導計画の作成状況について、各学校では、要支援生徒についての個別の指導計画が作成されており、生徒の実態や支援の方向性、具体的な対応策が示されていたが、一部の学校では、記述内容が少ないなど、表面的なものも見られた。また、教職員間の共通理解が不十分で、全校的な支援につながっていないものも見受けられた。次に、指導計画は千歳市特別支援教育の手引きに記載の書式を参考に、各校の実情も加味しながら、より充実した内容になるよう作成し、これを活用して定期的な生徒の情報交換を行うなど、全教職員が困り感のある生徒への支援について理解し、共有してもらいたいということ。次に、子どもの変化に対する対応が後手にならないよう校内委員会を定期的開催して、生徒の実態や支援の方策を検討するなど、組織的な対応に努めること。2つ目は、特別支援教育支援員の活用状況についてであり、特別支援教育支援員との連携は、業務日誌を教職員間で回覧したり、支援員を校内委員会に参加させるなど、各学校の事情により工夫した取組が見られ、今後、より一層の協力関係を築くために、年度当初に支援員と業務内容を確認したり、個別の指導計画を閲覧できるようにするなど、更なる連携に努めていただきたい。3つ目は、特別支援教育に関する校内研修の実施状況についてであり、特別支援教育に関する校内研修は、全ての学校で取り組まれており、特別支援教育の視点を生かした教育実践に意欲的に取り組む教員も増えてきている。一方で、他の研修課題もあるため時間確保が難しい、研修意欲やニーズに温度差があるなどの課題も見受けられることから、他の会議後などを活用した短時間の研修を企画するなど、特別支援教育に関する研修の充実に努めるようお願いしました。

5点目は、千歳市コミュニティ・スクール調査研究指定校の決定ということで、千歳市におけるコミュニティ・スクールの導入の在り方や充実・改善に関する調査研究を行うとともに、その成果を市内小中学校及び保護者・地域へ普及啓発することを通じて、千歳市におけるコミュニティ・スクールの普及促進を図ることを目的に、高台小学校、青葉中学校、駒の里小中学校を調査研究指定校として、平成29年度から実施すること。

6点目は、私費会計の適切な取り扱いということで、学校における私費会計の適切な取扱い及び金銭事故の防止については、これまでも機会あるごとに注意喚起し、厳正な指導をお願いしてきたところであるが、昨年12月7日付で懲戒処分された事案では、部活動会計について、担当教員が領収書の整備や経理簿の作成など必要な事務処理を行っていないばかりか、保護者等に返還すべき大会参加費の残金を1年以上自分の鞆に入れて持ち歩くなどの不適切な取り扱いをしていたことが発覚した。各学校においては、私費会計にかかる現金等の管理が適切に行われているか、収支の記録や請求書・領収書の整備が確実に行われているかを今一度確認するとともに、校内事務処理規定に基づく定期監査を適切に実施し、金銭事故の防止に努めるよう指示い

委員	<p>たしました。</p> <p>7点目は、平成29年度当初人事の状況について説明しました。</p> <p>8点目は、学校給食費収納業務への協力について、</p> <p>9点目は、平成29年度教育予算のうち学校教育関係分の新規・継続・拡充の主なものを説明いたしましたが、詳細は後程事務局から説明があります。</p> <p>報告については以上であります。ご質問やご意見等ございますか。</p> <p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは次に議事に入ります。</p> <p>議案第1号平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について事務局から説明願います。</p>
学校指導課長	<p>議案第1号平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由であります。平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について、本案を提出するものであります。公表については、地域や保護者への説明責任を果たす観点から、市全体の調査結果を、数値を用いて、昨年度の結果と比較しながら公表することとし、併せて結果分析と今後の取組についても公表します。公表予定時期は平成29年2月を予定しております。前回の教育委員会会議で公表方法についてご説明いたしましたが、学校ごとの公表は、学校の序列化や学校間の過度な競争が生じる恐れがあること、小規模校では個人が特定されることから、教育委員会としては、学校ごとの公表は行わないこととします。</p> <p>公表の概要についてご説明いたします。調査の概要でありまが、本調査は、小学校第5学年及び中学校第2学年を対象に8種目の実技に関する調査と児童生徒質問紙による調査を行うものです。参加状況として、本市は小学校883名、中学校890名が参加しました。用語解説と説明であります。結果の要約を掲載し、実技調査、体格と肥満度に関する調査、児童生徒及び学校質問紙の調査結果を数値で掲載しております。小学校男子の実技に関する調査結果をご説明します。本年度の千歳市の平均得点は53.84、全国の得点が53.92であり、その差は0.08ポイントであり全国と同様の結果となっております。種目別に全国を上回ったものが3種目であり、全国と同様のものは2種目あります。平成25年度からの各種目のT得点を経年変化で表しております。T得点とは全国平均値に対する相対的な位置を示すもので、本調査のように単位や標準偏差が異なる調査結果を比較するときに使用します。全国平均のT得点は50となります。グラフではこれを赤線で示し全国との差を可視化しています。反復横とび、20mシャトルラン、50m走は4年間で1度も全国</p>

平均を上回っておりません。敏捷性の反復横とびは年々向上していますが、全身持久力であるシャトルラン、疾走能力の50m走の向上に取り組む必要があります。一番下の帯グラフは総合評価をAからEの5段階で示しており、千歳市は評価分布が全国とほぼ同様となっております。小学校女子については、全国平均を上回った種目が握力とソフトボール投げの2種目でありましたが、全国を下回った種目のうち長座体前屈を除く5種目で前年度の記録を上回っており、体力総合点のT得点も49.2と前年度を0.7ポイント上回り、全国との差が縮まっています。中学校男子では、4種目が全国平均を上回り、体力総合点のT得点も50であり、全国水準に達しています。中学校女子では、全国を上回った種目は1種目ではありますが、上体起こし、反復横とび、50m走の3種目は全国との差が縮まっており、T得点も前年度より0.7ポイント改善され、全国との差が縮まっています。次に体格と肥満度に関する調査ですが、小学校は男女ともにやや肥満傾向が見られます。中学校では、逆に痩身傾向が高い状況が見られます。

次に児童生徒質問紙調査結果ですが、設問に対する回答データを表やグラフで表示し、経年比較が可能な質問については折れ線グラフで表示しています。小学校では、男女ともに平日に学校の体育の授業以外での運動やスポーツをする時間が長く、1週間の総運動時間も全国より長い。中学校では男女ともに曜日によって運動時間に差がみられ、1週間の総運動時間は、男女ともに、全国と比較すると若干短い状況です。小中学校ともに運動部・スポーツ少年団に所属している割合が低い傾向にありますが、小学校女子は緩やかな増加傾向が見られます。

中学校では、部活動に所属していない割合が高いことから、学校内外の様々な場面で、運動の機会に触れることが望ましいと考えます。運動が好きかという質問の経年変化グラフでは、小学校男子は毎年、ほぼ全国と同様ですが、女子については上昇傾向が見られ、本年度は全国と同様となりました。中学校では、昨年度と比べて、男女ともに運動が好きとの回答が減少しています。体育の授業は楽しいかという質問では、小学校男子は昨年度に比べ2ポイントほど減少はしていますが、女子は上昇し全国と同様であり、中学校では、男女ともに全国を上回っています。

次に学校質問紙調査結果については、体力、運動能力向上の取組は、小中学校いずれも全国より積極的に進められており、特に、小学校では運動が苦手な児童への対応を進めている学校が多くなっています。小中学校ともに調査結果を踏まえた授業の工夫・改善に積極的に取り組んでいます。また、調査報告書の事例校を参考とした取組も全国より進んでおり、中学校では前年度より倍増しました。本市においては、平成27年度から実施している新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業指定校が著しい成果を上げていることから、その取組が他校の参考となっているものと考えます。

	次に今後の取組として、新体力テストの種目を活用した体力づくりの推進、コーディネーション運動の推進、新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業の成果の普及等 6 点について改善策を示しております。以上、第 1 号議案についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。
教育長	議案第 1 号平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表についてご質問等ございますか。
山田委員	肥満度傾向という言葉がありましたが、計算式は都度見直されているのでしょうか。
学校指導課長	平成 18 年に財団法人日本学校保健会が制定したマニュアルの計算式により計算しています。
山田委員	肥満傾向にある児童生徒に対しては個別の指導を行っているのでしょうか。
学校指導課長	結果については一人ひとりに通知しており、そのような傾向にあることも通知内容に含まれています。
学校教育課長	他によろしいでしょうか。
委員	一同了承（原案可決）
教育長	次に議案第 2 号千歳市立学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について事務局から説明願ひます。
学校指導課長	<p>議案第 2 号千歳市立学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由でございますが、北海道職員等の育児休業等に関する条例及び北海道職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例及び北海道学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴い、北海道教育委員会が定める北海道立学校管理規則及び北海道立学校職員服務規程が一部改正されたことを受け、これらの規定に準じて定める千歳市学校管理規則について所要の改正を行うため、本案を提出するものであります。</p> <p>今回の改正は、条例の改正により介護休暇の取得可能期間である 6 月間を</p>

	<p>3回まで分割することができることとなったこと。連続する3年の期間内において、1日につき2時間を超えない範囲で必要と認められる時間勤務しないことができる介護時間が新設されたことに伴い、千歳市学校管理規則に記載を追加し、必要な様式を定めたものであります。</p> <p>新旧対照表でご説明いたします。第13条に表簿の規定がありますが、15号中休暇等処理票の次に、介護休暇等処理票、介護時間処理票を、休暇等処理簿の次に、介護休暇等処理簿、介護時間処理簿を加えております。第34条に休暇の規定がありますが、第2項中及び介護休暇を、介護休暇及び介護時間に改めております。第36条に休暇等の請求の規定がありますが、第1項中介護休暇の次に及び介護時間を加え、及び前条を並びに前条に、(第16号様式)を(第16号様式の1)に改めております。また、同条第4項中介護休暇の次に及び介護時間を加え、休暇等処理票を介護休暇等処理票(第16号様式の2)及び介護時間処理票(第16号様式の3)に改め、(第17号様式の5)の次に及び介護時間処理簿(第17号様式の6)を加えております。校長の休暇等処理票の様式ですが、この第16号様式中平成及び、介護休暇を削り、同様式を第16号様式の1とし、新たに校長の介護休暇等処理票及び介護時間処理票に係る様式を加え、所属職員の介護休暇等処理簿に係る様式として、この第17号様式の5を改め、新たに所属職員の介護時間処理簿に係る様式を加えております。</p> <p>只今、ご説明いたしました千歳市立学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則であります。この規則は、平成29年2月1日から施行することとしております。</p> <p>以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議・ご決定賜りますようお願いいたします。</p>
教育長	議案第2号千歳市立学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則の制定についてご質問等ございますか。
山田委員	介護される側が1人につきということによろしいのでしょうか。また、第何親等までという決まりはあるのでしょうか。
学校指導課長	1人につきということです。また、2点目ですが、今回は無給になるということもあり、範囲が広がっております。配偶者の親、子、養子縁組の子の介護も含まれることとなります。
教育長	その他よろしいでしょうか。
委員	一同了承(原案可決)

教育長	次に、報告第1号平成29年成人式はたちのつどいの開催結果について事務局から説明願います。
生涯学習課社会教育係長	<p>報告第1号平成29年成人式はたちのつどいの開催結果について報告させていただきます。</p> <p>はじめに、日時及び会場であります。去る1月8日日曜日、午後2時より北ガス文化ホールを会場に開催いたしました。当日は、お忙しい中教育委員の皆様のご臨席を賜り誠にありがとうございました。次に、当日の参加者ですが、対象者は平成28年10月31日現在の住民記録による1,315名のところ、781名の新成人が参加し、参加率は59.4%、前年度比較で60人、0.8ポイントの増となりました。続きまして、実施内容及び結果についてまとめますが、今年度はこのはたちのつどいを企画いたしました新成人の協働会議メンバー6人が、事前の準備だけでなく式典での役割も分担し合いました。皆様にご覧いただきましたとおり、司会進行や国歌のピアノ伴奏、誓いのことば、協働会議からの報告など、滞りなく進めることができました。まさに手づくりの成人式になったものと思われま。恒例となりましたビデオレターでは、新成人にとってなじみの深い先生方が登場されたようで、また、先生方も趣向を凝らした演出をいただき、会場内が大いに盛り上がりま。式典終了後は、4階において新成人の広場や抹茶と和菓子の振舞いが催されたほか、協働会議で企画した小学校の机や椅子、中学校までの教科書などを展示しました。また、今年度は、企業の協力を得ましてキリンビール北海道千歳工場がポスターやのぼりの掲示と合わせてアルコールパッチテストを実施し、適正飲酒の啓発を行いました。4階では、大会議室での新成人の広場で約300人、抹茶の振舞いが約130人、キリンブースでは約200人の来場がありました。新成人にとっても懐かしい友人たちとの楽しいひとときを過ごせたのではないかと考えております。</p> <p>以上、平成29年成人式はたちのつどいの開催結果についての報告を終わります。</p>
教育長	報告第1号平成29年成人式はたちのつどいの開催結果についてご意見やご質問はございますか。
山田委員	担当課の方で細やかに対応してくださり、人と人との接点の場面を多くするような工夫が見られました。
教育長	その他よろしいでしょうか。

委員	一同了承（報告済）
教育長	報告事項は以上であります。その他事務局からございますか。
教育部次長	～平成 29 年度教育予算の概要について説明～
学校教育課長	～平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の北海道公表の進捗状況について説明～
学校指導課長	～平成 28 年度ミアーズ中学校交流事業について概要説明～
教育長	その他よろしいですか。 これもちまして本日の会議を終了します。